

JIS 鋼材規格講習会

主旨：近年、国民経済の発展と消費水準の向上により、鉄鋼の需要分野は急速に拡大され、鋼材の用途はますます多岐にわたっております。

このような趨勢に応じて鉄鋼材料は、より高度の品質あるいはすぐれた新製品が開発されつつあります。

そこで当会では、JIS の鋼管規格が改正された機会に、JIS の鋼管・ステンレス鋼・構造用鋼材・耐熱鋼・特殊鋼・薄鋼板について、それらの使用者側産業界の設計担当者、資材購買担当者を対象に JIS の鋼材規格の正しい解釈の仕方、要求性能にマッチした JIS 鋼材の正しい選び方と使い方について解説し、利用技術の向上と JIS の普及に寄与するために、この講習会を開催します。

開催地および開催期日：

東京	昭和48年6月26日(火)・27日(水)	サンケイ会館5階国際ホール
名古屋	昭和48年7月2日(月)・3日(火)	愛知県中小企業センター4階第1会議室
大阪	昭和48年7月3日(火)・4日(水)	大阪府商工会館7階講堂
広島	昭和48年7月4日(水)・5日(木)	広島商工会議所ビル1階101号室
福岡	昭和48年7月5日(木)・6日(金)	電気ビル別館6階ホール

共催：(財)日本規格協会 (社)日本鉄鋼協会 ステンレス協会

後援：工業技術院

プログラム

時 間	演 題	内 容
一 日 目	9:30 ～10:25	鋼材関係 JIS の現状と将来 体系的にみた JIS の現状 今後の制定・改正計画
	10:35 ～12:30	鋼管の選び方と使い方 鋼管規格の見方と使い方(鋼管規格分類体系・用途別規格分類)、 鋼管の製造法と特徴、配管用・構造用等の鋼管の選び方使い方
	13:30～ ～16:30	構造用鋼材の選び方と使い方 規格制定の経緯および規格内容の特徴、体系上の位置、外国規格 などとの対比、構造用鋼の使用上の問題点および注意する事項、 今後の課題等
二 日 目	9:30 ～12:00	ステンレス鋼・耐熱鋼の選 び方と使い方 ステンレス鋼規格および耐熱鋼規格の見方と使い方(分類体系お よび特性) ステンレス鋼・耐熱鋼の特性と選定上の着眼点、要求 性能にマッチしたステンレス鋼・耐熱鋼の選び方使い方
	13:00 ～14:25	薄鋼板の選び方と使い方 冷間圧延薄鋼板および熱間圧延薄鋼板の選び方と 使い方
	14:35 ～16:30	特殊鋼の選び方と使い方 特殊鋼規格の見方と使い方(特殊鋼の分類と特性、化学成分)、特 殊鋼の特性と選定上の着眼点、要求性能にマッチした特殊鋼の選 び方と使い方

聴 講 料：一般 1名 8,000 円(テキスト含)

官庁・地方自治団体職員および学校教職員 1名 6,000円(テキスト含)

定 員：東京 300 名、名古屋 150 名、大阪 200 名、広島 100 名、福岡 100 名

使用テキスト：(1) 講師執筆テキスト

(2) JIS ハンドブック鉄鋼・1973 年版

講 師：(五十音順・敬称略)

青木 朗 新日本製鉄(株) 木村 勲 新日本製鉄(株) 越野 健司 トヨタ自動車工業
(株) 小滝 昌治 日本鋼管(株) 酒井 寿彦 住友金属工業(株) 佐藤 完往 東洋工業
(株) 莊林 久男 日産自動車(株) 仁木誠之助 川崎製鉄(株) 能丸 勇 愛知製鋼(株)
原田 憲二 日本金属工業(株) 福原 章男 新日本製鉄(株) 村治 敏明 大同製鋼(株)
矢倉林之助 (株)神戸製鋼所 八巻 雄三 三菱製鋼(株) 吉武 進也 日本冶金工業(株)

申込および連絡先

東京会場の方は 日本規格協会 標準課 電話 (03) 583-8001 (代) 内線 19・53
〒107 東京都港区赤坂4丁目1-24

名古屋会場の方は 日本規格協会 名古屋支部 電話 (052) 221-8316 (代)
〒460 名古屋市中区2丁目6-12 白川ビル内

大阪会場の方は 日本規格協会 関西支部 電話 (06) 261-9928
〒541 大防市東区本町4丁目4-1 本町野村ビル内

広島会場の方は 日本規格協会 広島支部 電話 (0822) 21-7023
〒730 広島市基町5-44 広島商工会議所ビル内

福岡会場の方は 日本規格協会 福岡支部 電話 (092) 76-4226
〒810 福岡市中央区渡辺通2丁目1-11 十八銀行ビル内

第 24 回 塑性加工連合講演会

共 催：軽金属学会，日本機械学会，日本鉄鋼協会ほか 6 学協会

日 時：昭和48年11月4日(日)～6日(火)

開 催 地：岡山衛生会館 (岡山市古京町 1-1-10)

講演申込方法：はがきに(横書きで)「第24回塑性加工連合講演会講演申込み」と題記，①講演部門の分類番号，②題目，③概要(50字以内)，④所要時間(20分以内)，⑤スライド(有無)，⑥氏名，所属学協会名および会員資格(連名の場合は講演者に*印)，⑦勤務先，⑧通信先を明記のうえ下記あてお申込みください。

講演部門の分類番号

1. 理論および弾塑性解析，2. 計測および材料試験，3. 材料および挙動，4. 工具，5. 潤滑，6. 加工機械，
7. 圧延，8. 押出し，9. 鍛造，10. 引抜き，11. せん断，12. 板材成形，13. 転造，14. 矯正，15. 表面加工，
16. 高速加工，17. 高圧加工，18. 接合，19. プラスチックの加工，20. ロール成形，21. スピニング，
22. その他

注1：講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが，最近の研究に属するものが望ましい。

2：講演は1人1題目に願います。

申 込 先：日本機械学会 (〒107 東京都港区赤坂4-1-24 日本規格協会ビル3階)

申 込 締 切：昭和48年7月25日(水)

講演論文集：オフセット印刷とし，1292字詰原稿用紙4枚以内(図・表・写真を含む)，詳細執筆要領・原稿用紙などは後日講演者あて幹事学会よりお送りいたします。

原稿提出期限：昭和48年8月31日(金)

第 16 回 自動制御連合講演会 講演募集要項

- 主催学協会 化学工学協会，計測自動制御学会，電気学会，日本機械学会，日本自動制御協会
- 参加学協会 応用物理学会，計装研究会，情報熱処理学会，電子通信学会，日本オペレーションズ・リサーチ学会，日本繊維機械学会，日本造船学会，日本鉄鋼協会，日本油空圧協会
- 幹事学協会 計測自動制御学会 (東京都港区芝琴平町20 計測会館内 Tel. 502-1917)
- 開催期日 昭和48年10月23日(火)，24日(水)，25日(木)
- 会 場 国立教育会館 (東京都千代田区霞が関 3-2-3 Tel. (03) 580-1251)
- 講演申込 ①講演希望者は所属の主催または参加学協会を通じて指定の申込用紙により発表1件につき講演申込金 500 円を添えて申し込むこと。
②講演内容は発表されたものでもさしつかえないが，なるべく最近の研究で学術的なものが望ましい。
③講演時間は約 15 分 (討論を含む) の予定。
④講演の採否などは運営委員会に一任願います。
⑤申込用紙が不足の場合は所属学協会へ申し出ること。

- 部門 第1部 理論 (最適制御，適応制御，学習制御等)
推定，同定，観測問題等，その他)
- 第2部 制御要素と機器
- 第3部 応 用
- 第4部 計 測

講演申込締切期日 昭和48年7月31日(火) 所属学協会必着

講演前刷 講演者は前刷原稿を必ず下記期日までに直接日本自動制御協会へ提出してください。

- ①講演前刷原稿締切期日 昭和48年8月31日(金) (必着)
- ②前刷原稿の用紙および書き方の詳細は日本自動制御協会から講演申込者に送付いたします。
- ③前刷原稿は規定の原稿用紙2枚(図，表，写真を含めて邦文にて2,800字以内)に明りょうに墨書してください。
- ④講演前刷はオフセット印刷になりますから写真も入れられます。所定の用紙以外の用紙に書いた原稿は受け付けません。
- ⑤講演別刷は50部差し上げます。